

2006年度 大学院法務研究科  
法学既修者認定試験  
会 社 法  
( 問 題 )

---

つぎの問1、問2に答えなさい。

問1 A株式会社の経営者は、経営陣の方針に反対する株主Bの持株比率を低下させるために、株主総会の決議を経ずに、時価を下回る価格で第三者割当増資を行なおうとした。その場合に、Bは自己の権利を確保するためにどのような措置をとることができるか。

問2 A（投資ファンド）は、余剰資金を大量に保有しているB会社の議決権の50%超を取得し、株主提案を行ない、今期の配当可能額のすべてを配当する旨の株主総会決議を成立させた。配当を新規事業の設備投資のために社内に留保しておくべきだと考える株主Xは、株主総会決議の取消を求めた（配当の一部を社内留保する方が、企業価値は高まったと想定せよ）。Xの請求は認められるか。Aに対するXの損害賠償の請求は認められるか。